



学校だより 12月

横浜市立新井小学校
No. 539
令和5年11月30日
TEL 383-3455
FAX 381-7372

(URL <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/arai/>)

挨拶を通して

校長

校庭に吹く風が冷たくなりました。今年は秋を感じる期間が短く、もう明日には12月に入ります。あとひと月で2023年が終わると思うと、年の初めに立てた目標が達成に至っていない私は焦りを感じてしまいます。まさに「師走」の字のごとくです。

学校は、今年もPTA役員をはじめとして多くの方々にご協力をいただいています。特に学習応援隊の皆様のご支援のおかげで、子どもたちは安全に登校し、教科書以外の学びを数多く体験することができています。全校児童が野菜を育て収穫体験をすることができているのもその一つです。大きなサツマイモに子どもたちは大喜びでした。また、先日は花壇ボランティアの皆さんが、環境委員会の児童とともに花壇を整備してくださいました。職員玄関前や職員室前の花壇にはかわいいきれいな花々が咲いています。来校の際にどうぞご覧ください。今年は教室や図書室でのボランティアさんによる「読み聞かせ」も復活しました。読んでくださるお話を、集中して聞く子どもたちの姿を見ることができています。本当にありがとうございます。引き続きご支援をよろしく願いいたします。

実は最近気になることがあり、朝会で子どもたちに話したことがあります。朝の登校見守りをしていると、子どもたちからの「おはようございます。」の聲が心なしか元気がなく、進んで挨拶する子どもが減ったように感じていました。同じように見守りをしてくださっている方に聞いてみると、「そうなんです。こちらが声をかけても返事が返ってこない子もいます。心配だなあ。」と言われました。私が感じていたことと同じでした。

挨拶ができるかできないかは心の状態の表れともとれます。不安な心では明るい挨拶の声は出ないでしょう。心が安定するように、心配事があれば近くにいる友だちや大人に相談してみようということ。そして挨拶をして損をすることはないということをお話しました。挨拶は相手との会話のきっかけになり、「あなたのことを気にかけていますよ。」というサインになります。気にかけてもらって嫌だという人はいません。相手を認めていることを表すのが挨拶です。挨拶された人は認めてもらったことに安心するのです。新井小の子どもたちは、自分から挨拶できる子どもたちであってほしいと伝えました。是非ご家庭でも話題にしてください、地域でも挨拶を交わす姿がたくさん見られるようになってほしいと思います。

8日から個人面談が始まります。短い時間ではありますが、お子さまの事を共有する有意義な時間にできたらと考えております。ご協力よろしく願いいたします。